

第4章 いきいきと暮らせる 笑顔のまち

第1節 社会福祉

現状と課題

●高齢化が進行する中、高齢者が安心していきいきと暮らし、活発に活動できるまちづくりを推進することは、まちの活力を高めるためにも重要です。

芦屋町では「芦屋町高齢者保健福祉計画」に基づき、給食サービスや緊急通報装置貸与事業などに取り組み、平成18年度からは介護保険制度の見直しに伴い、介護予防に重点を置いた事業を進めています。今後もさらなる高齢化が見込まれる中、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、各種サービスの充実や高齢者を支える体制づくりを進めることが求められています。

また、高齢者の交流や社会参加の促進、生きがいのため、老人クラブへの支援や老人憩の家の運営などを行っていますが、老人クラブ加入者の減少や老人憩の家施設の老朽化が課題です。

●障がいのある人を取り巻く環境は、障害者自立支援法の施行など大きく変化しています。

芦屋町においては「芦屋町障害福祉計画」に基づき、各種福祉サービスや相談事業、就労支援、啓発などに取り組んでいます。しかし、障がいのある人が自立した生活を営み、社会参加するためには、福祉・保健・医療の連携のもと日常生活支援や各種サービスの充実とあわせて、地域ぐるみで障がいのある人を支える環境をつくる必要があります。

●また、一人暮らし高齢者をはじめ、支援を必要とする人が年々増加しており、従来の公的なサービスに加え、今後は地域における支え合い、助け合いが重要なものとなります。

芦屋町においても、社会福祉協議会やボランティア団体などを中心に地域福祉活動に取り組んでいますが、住民の誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるためには、行政・住民・福祉団体・関係機関などがそれぞれの役割の中で互いに連携し、支え合う地域福祉の推進が課題です。

基本方向

高齢者や障がいのある人が安心して、いきいきとした生活を送ることができるように支援の充実を図るとともに、関係機関と連携し、支援が必要な人を地域で支えるネットワークづくりを進めます。

主要施策

(1) 高齢者福祉の充実

- 1 高齢者の長寿を祝い、敬老意識の高揚を図ります。
- 2 高齢者の生活機能の維持・向上を図ることにより、地域での自立した日常生活を支援します。
- 3 高齢者などの生活交通を確保するため、町内を巡回するバスを運行します。
- 4 老朽化の進む老人憩の家の建て替えを検討します。

【施策を推し進める主要事業】

No	事業名	概要
1	敬老祝金・敬老会事業	高齢者の長寿を祝うため、各節目に祝金を給付するとともに、式典を実施します。
2	介護予防事業	介護が必要となるおそれのある高齢者を事前に把握し、要介護者にならないように教室や相談を実施します。
3	巡回バス事業	高齢者などの生活交通を確保するため、町内を巡回するバスを運行します。



● 老人クラブ連合会スポーツ大会

第4章 いきいきと暮らせる笑顔のまち

主要施策

(2) 障がい者福祉の充実

- 1 障がいのある人が、その適性に応じて自立した日常生活を営むためのサービスの提供を行います。
- 2 バリアフリー化など障がいのある人に対応した公共施設の整備を推進します。

【施策を推し進める主要事業】

No	事業名	概要
1	地域生活支援事業※1	障がいのある人の状況に応じ、相談支援、移動支援、日常生活用具給付などのサービスを提供します。

(3) 地域福祉の推進

- 1 住民や福祉団体、関係機関などとの連携のもと、地域福祉の推進を図り、互いに助け合い、支え合う地域づくりを進めます。

【施策を推し進める主要事業】

No	事業名	概要
1	「地域福祉計画」の策定及び推進	「地域福祉計画」を策定し、住民や福祉団体、関係機関などと連携のもと地域福祉活動の活性化や地域福祉を進める推進体制の整備に取り組みます。



●高齢者との交流

●巡回バス



※1地域生活支援事業：「障害者自立支援法」に位置付けられる事業で、地域で生活する障がいのある人が自立した日常生活、または社会生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じて実施するもの。相談支援やコミュニケーション支援、日常生活用具給付など、障がいのある人等の福祉の増進や、安心して暮らすことのできる地域社会の実現を目的とする。

社会福祉を向上させる目標

指標名	現状値		目標値 (平成27年度)
	年度	値	
老人憩の家利用者数(年間)	平成21年度	61,490人	64,000人
介護予防事業利用者数(年間 実人員)	平成21年度	412人	520人
地域生活支援事業利用者数(年間 実人員)	平成21年度	62人	90人



●長寿のお祝い

第2節 健康づくり

現状と課題

●食生活や生活習慣などの変化に起因する生活習慣病の増加が、医療費の増大や要介護者の増加につながっており、健康づくりに対する住民の関心や重要性は高まっています。

●芦屋町では、乳幼児健診や妊婦健診、各種がん検診、健康教室など疾病の予防や早期発見に向けた取り組みのほか、育児教室や家庭訪問なども実施し、正しい健康知識の普及に努めています。平成20年度からは、国民健康保険被保険者・被扶養者を対象に特定健康診査及び特定保健指導の実施が義務付けられたため、「芦屋町特定健康診査等実施計画」を策定し、それに基づく健診、保健指導を実施しています。

しかし、平成21年度の特定健康診査受診率は20.1%、がん検診受診率は平均10%と目標値を下回っており、受診率の向上が課題です。

今後も疾病の予防や早期発見のため各種健診（検診）を実施し、健康教育などの充実に努めるとともに、保健・医療・福祉の連携のもと、生涯にわたる健康づくりを進める必要があります。



●健康教室

基本方向

住民一人ひとりの健康に対する意識啓発を進めるとともに、各種健診（検診）について受診勧奨を図りながら、住民の健康づくりへの支援や国民健康保険事業運営の安定化を図ります。

主要施策

(1) 健康づくりの推進

- ① 健康教室、家庭訪問などを実施して生活習慣を見直す機会を提供し、住民一人ひとりの健康づくりを支援します。
- ② 乳幼児期から高齢期までの各期において、各種の健診（検診）や予防接種などを実施するとともに、広報や受診勧奨の徹底により受診率の向上を図ります。

【施策を推し進める主要事業】

No	事業名	概要
1	がん検診	早期発見のため、6つ（胃・肺・大腸・乳・子宮・前立腺）のがん検診を行います。
2	妊産婦健康診査・歯科健康診査	早産や低体重児の出生予防のため、胎児の成長や妊婦の体調を早期に確認します。
3	家庭訪問事業	出生児の全戸訪問や健診後の訪問を実施し、健康づくりの支援を行います。

(2) 国民健康保険事業

- ① 生活習慣病の改善、疾病の予防、早期治療の徹底を図れるよう、健診時や健診後の健康相談や指導の徹底に努めます。
- ② 特定健康診査・特定保健指導などによる医療費の削減及び国保税の税率の見直しを行い、国民健康保険事業運営の安定化に努めます。

【施策を推し進める主要事業】

No	事業名	概要
1	特定健康診査・特定保健指導の促進	健診及び保健指導の実施により、生活習慣病の予防を図ります。
2	国民健康保険事業の運営安定化	脆弱な運営基盤を改善するため、特定健康診査・特定保健指導などによる医療費の削減及び国保税の税率の見直しを行います。

健康づくりを向上させる目標

指標名	現状値		目標値 (平成27年度)
	年度	値	
がん検診受診率	平成21年度	10.9%	35.0%
特定健康診査受診率	平成21年度	20.1%	65.0%

第3節 医療

現状と課題

●高齢化の進行による健康不安の増加や、疾病構造の変化などに伴い、医療に対するニーズは多様化、高度化しており、医療体制の充実が重要なものとなっています。

●芦屋町では、芦屋中央病院の医療機器の充実や医療技術の向上、施設の計画的な改修などに取り組んでいます。また、平成21年度には地域連携室を設け、町内や近隣の診療所、医療機関との連携による地域医療体制の充実を図っています。

今後も、住民が安心して生活できるように、健全な病院経営に努めるとともに、建て替えを含め、老朽化した病院施設への対応や、関係機関と連携した地域医療体制及び緊急医療体制の充実に取り組むことが必要です。



基本方向

医療機器の充実や医療技術の向上に努めるとともに、関係機関との連携のもと安心して暮らせる地域医療体制をつくります。また、老朽化が進む病院施設は、建て替えを含めた検討を行い、整備を進めます。

主要施策

(1) 地域医療の充実

- ① きめ細かな医療を提供するため、医療機器の充実及び医療技術の向上を図ります。
- ② 関係機関との連携を図り、地域医療体制の充実を図ります。
- ③ 地域住民に安全で安心な医療を提供するため、老朽化の進む病院施設の建て替えを含めた対応を検討します。

【施策を推し進める主要事業】

No	事業名	概要
1	医療機器整備事業	地域住民の医療需要に応え、より信頼される医療機関となるため、医療機器の充実を図ります。
2	病院施設改修事業	地域住民に安全で安心な医療を提供するため、老朽化した施設を計画的に改修するとともに、建て替えを含めた検討を行います。

医療を向上させる目標

指標名	現状値		目標値 (平成27年度)
	年度	値	
「地域医療の充実」の満足度※	平成21年度	2.56	2.65

※「地域医療の充実」に対する満足度は、平成21年度に実施した住民アンケート結果におけるすべての調査項目の平均満足度が2.65に対して、調査時点では2.56でした。